

南長野青年会議所 第2回通常総会

8月8日(月)18時30分より信州健康村2階において、第2回通常総会が行なわれました。本年は例年の活動に加え、公益法人格の取得や間近に控えた創立50周年認承40周年記念式典の開催などこれからのLOMにとって大きな足跡を残す事業がある中での開催となりました。

総会では次年度2012年度理事長並びに監事、理事各予定者も全会一致にて承認され、次年度に向けてのスタートが切られました。

その後ご来賓及び北信4LOMの理事長及び専務理事をお迎えする中で、南長野青年会議所の伝統である「黎明の鍵」が2011年度理事長竹村成弘君から2012年度理事長予定者大平郁久男君へと引き継がれ2012年度に向けたお話を頂きました。



黎明の鍵の伝達 左・大平理事長予定者、右・竹村理事長



2012年度理事予定者メンバー

義捐金災害支援事業

東日本大震災発生から1ヵ月半が経過し、青少年委員会では被災地の子ども達の為の義援金を募り、今現在必要としている物資に換え支援しようという活動に取り組みました。また今回の活動においては、地域の高校生に篠ノ井駅前にて一緒に募金を呼び掛けてもらったり、AC長野パルセイロレディース選手の方々にサッカー教室を開きながら、呼びかけをしてもらうなどのご協力も頂きました。

2日間に渡り募りました金額は合計116,688円になり、仙台市の児童養護施設（仙台天使園様）へ子ども達が必要としている玩具に換えて送らせて頂きました。

2012年度理事予定者紹介

理事長予定者	大平郁久男	君
直前理事長	竹村 成弘	君
外部監事予定者	赤塩 光弘	氏
監事予定者	野本 靖	君
総括副理事長予定者	近藤 秀樹	君
副理事長予定者	綿貫 昌夫	君
〃	山本 知計	君
〃	小坂 欣三	君
〃	小嶋 浩明	君
〃	三俣 史博	君
〃	久保田 俊行	君
専務理事予定者	米山 直樹	君
委員長予定者	山岸 正道	君
〃	水口 英徹	君
〃	丸山 正紀	君
〃	関 裕司	君
〃	下城聖一郎	君
〃	小林 敏明	君
副委員長予定者	宮下 嘉文	君
〃	高橋 淳	君
〃	北澤 雅博	君
〃	小林 俊之	君
〃	酒井総一郎	君
〃	佐藤 寛	君



JCI 創設50周年 認承40周年
http://mnjc.jp/

2011年度 公益社団法人 南長野青年会議所



2011年度スローガン

善の循環で事を成す
かがり火を胸に未来を照らす源となれ

Vol.3

発行責任者：2011年度(公社)南長野青年会議所・総務渉外委員会

発行：平成23年10月

創立50周年・認承40周年記念式典

本年度、公益社団法人南長野青年会議所は、創立50周年・認承40周年という記念すべき年を迎える事ができました。これもひとえに地域社会の皆様や、私共を支えてくださっている関係各位の皆様、先輩諸兄のご理解とご協力のお蔭でありますことに心から感謝いたします。

日頃お世話になっている来賓関係者や青年会議所関係者をお招きし、未来に向けた「40周年宣言」を発表する事で皆様に公益社団法人南長野青年会議所を十分理解して頂く機会とすると共に、「報恩感謝」というテーマを掲げ、おもてなしの心をもってこの記念式典、記念祝賀会を開催させていただく事ができました。お越し頂きました全ての皆様に感謝し、記念式典実行委員長としてのご挨拶に代えさせていただきます。本当にありがとうございました。



南長野青年会議所 公益法人格取得

私たち公益法人対策委員会は、メンバーの総意によって決定された、公益社団法人への移行認可を最終目的地として活動を行ってまいりました。メンバーの皆様の多大なるご理解とご協力のもと、8月18日に長野県公益認定等審査会から「認定の基準に適合すると認めるのが相当」である旨の答申がなされ、8月22日に社団法人南長野青年会議所を名称変更し、移行したことにより公益社団法人南長野青年会議所の設立にいたることができました。改めて、関係各位に御礼申し上げます。

思えば、平成21年度成田岳理事長以降、青木理事長、竹村理事長へと黎明の鍵が引き継がれていく中、例会その他の機会を通じ、組織のあるべき姿、財務体制、連絡とつながるおもい・歴史を承継する未来を選択するために、“一般”“公益”又は“任意団体”いずれによって存続していくのか検討を重ねていただきました。

公益法人は一流、一般法人は二流であるかのような誤解を聞くことがあります。私たちは、一流の組織として認定されたのでしょうか。決してそのような事はありません。昨年度の事業内容が公益の増進に寄与した団体であったとして、認められたにすぎません。公益法人として認定された法人は、(私たちにはあまりメリットではありませんが、)税制上の優遇があります。一方で、監督官庁に報告等を行い、その監督を受けることになります。いつでも、公益認定の取り消しがなされる可能性があるのです。公益法人以外にも、公益の増進に寄与する団体は多数あります。公益の増進に寄与する団体であり続けることは、非常に困難を伴うことでもあります。ややもすれば、自己満足に陥ってしまいがちなJC活動を、どのようにして、地域社会のために、地域市民のためにつなげていくのか。理念だけでなく、行動力をともなって実行していくこと。それが、私たちの選択した道なのです。常に公益を意識し、公益とは何なのか、私たちは、何のために活動をしているのか、自分たちの活動を見つめる必要があります。明るい豊かな社会を築くために青年としての英知と勇気と情熱をもって力をあわせましょう。かがり火を燃やし続けていくために。

MINAMINAGANO FESTIVAL 2011

南長野フェスティバル 2011

笑顔×絆

60000球のLEDの光が皆様をお待ちしております!!

イルミネーション点灯イベント

11月26日(土) 14:00~

イルミネーション点灯期間

11月26日(土)~12月24日(土)

イルミネーション点灯時間 17:00~22:00

南長野地域の小中高生の生徒が作ったイルミネーション作品の展示

詳しい内容は、ホームページ・ポスター・チラシをご参照下さい。

温故知新 ONKOCHISHIN 南長野JCって!?

ENTRY-No.06 2002年 6月例会

南長野JCワールドカップ

2002年ワールドカップ日韓合同開催の年、韓国からの留学生、メンバーの家族を交え、サッカーを通じて国際交流を深めました。日韓ワールドカップ開催中は、姉妹締結を結んでいるJCI KOREA 西大邱青年会議所メンバーと、韓国で共同観戦も行いました。国際交流、これが南長野青年会議所の魅力ですね。

温故知新 ONKOCHISHIN 南長野JCって!?

ENTRY-No.07 1994年度 4月8日

韓国日本交流絵画展

韓国大邱市、西大邱青年会議所の韓国日本交流絵画展の会員の子ども達が描いた絵の絵画展を南長野で開きました。近くて遠い日韓両国の間柄ですが、この様に合同絵画展という一つの事業を協力して開催できたのは、両LOM間の四半世紀に渡る交流による堅い友情の絆があったからこそで、その絆は今も益々強固になっています。

公益社団法人 南長野青年会議所
〒388-8007 長野県長野市篠ノ井布施高田895-1
TEL: 026-292-2310 FAX: 026-293-5709 E-mail: minaminaganojc@mtg.biglobe.ne.jp

発行元：総務渉外委員会 編集長：倉嶋 輝行
「温故知新」編集：会員指導力委員会
印刷所：有限会社サクセス

ホームページ更新中!是非ご覧下さい!!

南長野青年会議所 検索
http://mnjc.jp
かがり火のバックナンバーはホームページをご覧ください。

今しか会えない仲間がいる
今しかできないことがある

会員募集コーナー!

南長野青年会議所は、
新しい仲間を募集しております!

お問い合わせ先：南長野青年会議所事務局
☎026-292-2310 E-mail: minaminaganojc@mtg.biglobe.ne.jp

6月例会

あなたは どうして「商売」をするのか ～「商い成功」の秘訣!!～

6月15日(水) JAグリーンパレス

会員指導力委員会

6月15日(水)にJAグリーン長野・グリーンパレス3階にて6月例会JCセミナー「あなたは どうして『商売』をするのか～商い成功の秘訣!!～」を「株式会社ライフプロデュース」代表取締役振田仁先生をお迎えし開催いたしました。

かつて振田先生が入社した会社が倒産したことにより連帯債務を抱え自己破産しましたが、そこから這い上がり現在の立場を築き上げられました。並大抵のことではないその経験を基にご講演頂き、そこから導き出された考えなどを基に「事業失敗の現場で見てきた問題点」、「成功する経営者から見てきた解決策」、「世代間格差による事業承継の問題」、「事業の本質」、「経営理念とは」など、仕事や商売をする上で何が大事なことなのかを具体例をあげながらご講演いただきました。

一般参加者も含め約60名の中での講演会となりましたが、このご講演に際し遠方よりお越し頂いた振田仁先生、また、講演会にご参加いただいた一般の皆様、誠にありがとうございました。この場をお借りし深く感謝申し上げます。

ご参加いただいた皆様が、このセミナーを通じてよりしっかりとした目的意識を持ち個々の仕事や商売に臨める自分造り、会社造りの一つのきっかけとしていただければ幸いです。



講師
株式会社ライフプロデュース 振田 仁 氏

7月例会

狩野亮選手講演会「あきらめないで、いつでも夢を」

7月23日(土) JAグリーンパレス

青少年委員会

7月23日(土)に、バンクーバーパラリンピック金メダリストである狩野亮選手をお招きし、「あきらめないで、いつでも夢を」をテーマに講演会を開催致しました。講演部分では実際の競技中の写真や映像を流しながら障がい者スポーツについて映像を交えてわかりやすく講演して頂きました。狩野亮選手は小学生の時に事故に遭い、下半身が動かなくなってしまったのですが、スキー以外にも、テニスやバスケットなど色々な事に挑戦されたそうです。その中でチェアスキーに出会い長野オリンピックにも影響を受け、金メダルを目指し苦労や努力を重ねた結果夢であり目標であった金メダルをバンクーバーパラリンピックで獲得したとのお話がありました。まだまだ先を目指して挑戦して行くとのお話の中、夢や目標を持つ事は自分を振るい立たせることが出来るためとても大事であると感じられる内容でした。



続いて理事長と高校生3名を交えたパネルディスカッションでは「夢や目標に向かう努力の大切さ」などについて話をして頂きました。中でも高校生3名が自分の考えをしっかりと持っていることに大変立派だと感じられると同時に、我々は青年としてとても未熟であると気付かされました。私達にとっても、とても有意義な時間となりましたし、また高校生にとっても大変良い経験をしていただく機会になったと感じました。



高校生を交えたパネルディスカッション

「WAになって自然と共に育もう。心の豊かさを」

8月5日(金)・6日(土) 長野市錬成センター

8月5日、6日長野市山田中にある長野市錬成センターと富士ノ塔山にて自然体験事業「WAになって自然と共に育もう。心の豊かさを」を開催致しました。

初日の朝、参加された子ども達はお互い初めての顔合わせとなりましたが、私達の心配はよそに直ぐに他の子達と仲良くなり良い事業のスタートが切れました。錬成センターにつき開校式を行い、富士ノ塔登山に向かいました。自然を随所に感じられる登山となり、色々な昆虫やへびの発見に子ども達は興味をしましていました。



下山後はテントの設営・カレー作り・飯合炊飯をして協力する中で仲間への気配りも見受けられ、その後3人づつに分かれてのテント泊となりました。

翌日の朝はラジオ体操に始まり、昆虫採集、朝食、昼食を自分達で作る等様々な貴重な体験をしてもらえたと思います。そして、その経験の中から周りの人達への気遣いや、相手を「おもいやる」事が出来る心の成長にも繋がったのではないかと思います。この2日間を通して私達も改めて青少年育成の役割や重要性を感じる事業となりました。翌日親御様から来年も参加させたいとの声が聞かれ、なよりの励ましのお言葉を頂き、達成感を感じられる事業となりました。



8月例会

JCI KOREA 西大邱訪日歓迎レセプション

8月26日(金) メルパルク長野

総務渉外委員会



南長野運動公園の姉妹締結25周年記念の記念植樹をご覧いただいた後、昼食と合わせ「そば打ち体験」をしていただきました。終始和やかな雰囲気のなか、時は過ぎるのですが、クック会長、竹村理事長は記念式典リハーサルのため、そば打ち体験半ばに式典会場へ移動。

記念式典ではクック会長にご祝辞を頂き、また、東日本大震災発生時に多額の支援金を頂いた感謝状をお送りしました。祝賀会ではシニアの先輩も西大邱メンバーとの再会を分かち合い何度も一気している光景を見ました……(汗)。

鷺澤市長ともお話ができ、素晴らしい時間を過ごせたとおっしゃっていました。

この「かがり火」が発行される頃には、丁度、西大邱へ訪韓している頃だと思います。周年式典の御礼と姉妹締結30周年に向けた国際協働事業の協議をしに訪韓して参ります。



西大邱青年会議所・そば打ち体験



2011年度
総務渉外委員会
委員長
米山 直樹

9月例会

想定外の災害がおきたとき ～わたしたちのできること・つながる～

9月15日(木) 長野商工会議所篠ノ井支部2階

公益法人対策委員会

9月15日(木)長野商工会議所篠ノ井支部2階ホールにて9月例会「想定外の災害がおきたとき～わたしたちのできること・つながる～」を開催しました。

東日本大震災・長野県北部震災により私たちの防災意識が高まっています。今までの想定していなかったことが起こり安全だと思われていた場所がそうではないなど様々なことがわかりました。

そこで今回の例会では長野市南部と千曲市更埴地域に隣接する千曲川が氾濫した場合を想定し、長野市危機管理防災課担当職員と千曲市消防防災課担当職員の方々を講師としてお招きし、それぞれの市が策定している災害時の対応と住民自治団体の役割、そして私たち青年会議所に求められている役割についてご講演を頂きました。

また、千曲川をはさんで隣接する(社)科野青年会議所の皆さまにもご参加を頂き、実際に災害が起きたとき私たち青年会議所はどのような枠組みで連携をして行動をするのか両理事長にお話を伺いました。

今回の例会を通じ、各自治体の防災計画を知り、私たちは様々な立場のなか実際に災害が起きたときどのような行動がとれるのか、そして青年会議所メンバーとしてどのような行動がとれるのか、メンバー1人ひとりがそれを考えるきっかけを作れたのであれば幸いです。

多くのメンバーと(社)科野青年会議所の皆さまにご参加頂きありがとうございました。



2011年度
公益法人対策委員会
委員長
小林 雅希

